

～ 2024年12月賞与に関する労使協議会を開催しました ～



■11月11日(月)に、『2024年12月賞与』に関する労使協議会を開催しました。要求に先立ち、11月4日(金)には支部大会を開催し、組合(案)は満場一致で可決されています。要求の結果、2024年12月賞与は**組合要求通りの満額回答**を頂いています。

2024年12月賞与

社員 ステージB	評価	一律				
	支給ヵ月	1.00				
社員 ステージC	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.25	1.15	1.05	0.95	0.85
メイト 社員	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.45	1.25	1.15	1.05	0.85
エルダー スタッフ (F・S)	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.30	1.10	0.90	0.70	0.50
エルダー スタッフ (P)	評価	S	A	B	C	D
	支給ヵ月	1.00	0.80	0.60	0.40	0.20

※支給細則など詳細は組合HPより議案書を確認ください ⇒⇒
 ※支給日：2024年12月5日(木)



11月4日(月)支部大会

■大会代議員のコメント

- 賞与の労使協議状況や今後の賞与の方向性を踏まえて、今年度も黒字化を達成しなければいけないと、再認識するキッカケとなった。一方で、少数精鋭でタイトな人員の中で黒字化を目指していくため、一人ひとりの働き方が厳しく、結果として従業員が疲弊したり自己犠牲(休職など)したり、とならないような業務改善・組織編成を会社としてもおこなってほしい
- 2023年度は黒字達成し業績としては少し明るい兆しが見えてきたが賞与に関してはまだまだ回復していない。我々の下期の働き方がとても重要であり、現在の賞与水準に対してみんな満足していない。労使で協議をしている『年間2.5ヵ月支給』と『年間2.5ヵ月+α』をしっかりと勝ち取っていくことができるよう、私たち全員が一丸となって目の前の業務を取り組むことが重要である



11月11日(月)労使協議会

■支部執行委員長 工藤のコメント

- VOICEでは、足元の業績は厳しいものの、『2年連続の黒字化達成と営業利益目標161百万を達成すること』や『トップラインの拡大に向け一人ひとり考えアクションすること』の重要性を共有してきた
- 24年度賞与は年間2.5ヵ月への回復を実現していく方向性は労使同じ思いであると思っている。そして、その先は賞与制度に則り労使で賞与交渉をおこない、賞与という処遇改善をおこなっていききたい
- 今賞与の回答を頂いたから終わりではなく、メンバーの皆さんと業績向上に向けた取り組みの推進や、一人ひとりのパフォーマンスが最大化できるよう、組合でも各種取組みを推進していきたい

■代表取締役社長 小宮さんのコメント

- 2023年度は5期ぶりに黒字化を達成したが、従業員の頑張りに対し、賞与という形で十分に報いることはできていないと考えている
- 仙台三越の仲間と100周年に向けて共に歩んでいくためには、業績を向上させて利益を出していかなければ実現ができない。その為には、頑張りが無駄にならないような働き方・考え方等について、皆さんと一緒に取組んでいきたい



〈労使協議会〉
 11/11(月)18:15～ 仙台三越定館6階大会議室

参加者	会社	小宮	千葉	鶴田	組合	工藤	真山	若山	※敬称略
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	------